

自己実現2020

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

【期末考査が終わりました】

72回生のみなさんにとって、最後の定期(期末)考査が終了しました。他校の生徒の中には、推薦入試等で既に合格通知をもらい、残された高校生活を卒業まで目的もなく何となく過ごす高校生もいます。また、目前に入試を控えている多くの受験生は、自己の中にある「弱気」や「甘え」が顔を出しがちになります。そのような状況の中で、道を外さずやるべきことがしっかりできたなら、それは「受験を通じて成長する」ことに繋がります。今のみなさんには「逃げ道」はありません。それを「残念ながら」ではなく「当たり前なのだ」と考え、正面から立ち向かい、乗り越えましょう。困難に挑戦し、その壁を乗り越える力を体得しましょう。

【第5回実力考査答案返却及び個人成績票の返却(12/11(水)予定)について】

第5回実力考査の各教科の採点答案が返却されました。各回の実力考査にはそれぞれ意味があり、その時期ごとのみなさんの学力の到達度を測るとともに、みなさんの学力を引き上げるためのものでした。今回の実力考査は、国公立大学前期日程の約3か月前に実施したものであり、その結果です。何度も繰り返しますが勝負はこれからです。これ以降の3か月間にひとりひとりの状況は大きく変化し、同じ順位(成績)の人でも合否が分かれることが多々あります。また、逆転現象もあります。この結果は目安であって絶対的なものではなく、本当の意味での「実力」はまだ進化の途中であるということをお心に命じてください。

【A%・B%成績について】

3年生の実力考査は総合成績を「A%成績」・「B%成績」という数値で表示しています。第4回実力考査は、業者模試(ベネッセ・駿台記述模試)を利用して実施しましたが、第5回実力考査では、「A%成績」を算出するための各教科・科目の数値は、校内実力考査(第5回)とマーク模試(全統マーク模試)の平均値を用いています。一方、「B%成績」を算出するための各教科・科目の得点は、校内実力考査(第5回)のみを用いています。「A%成績」は5教科(文系：国・英・数・地歴公民・理科、理系：国・英・数・地歴 or 公民・理科2科目)、「B%成績」が3教科(文系：国・英・数、理系：英・数・理科2科目)という点は他の回と共通です。合否追跡調査に用いる総合成績は、第3～5回の各科目の平均値を算出し、その数値を「A%成績」・「B%成績」の算出式に代入しています。

【第5回実力考査教科・科目別講評】

〈国語〉

文系は、どの設問にも一生懸命取り組んだ様子が、解答から見受けられた。現代文・古典ともに4月から着実に力を付けている。時間に余裕を持っている者は少ないが、この先の演習で読む速さ・書く速さを上げることで、さらなる伸びを期待できる。

理系は、二次試験で国語を課されない者が多いからか、9月からの成長が見られない。記述が必要ないとしても、問われていることに対して端的に答えようとするならば、本文の要点をつかみ、正しく組み立てる力が必要である。そしてこの力は、センター試験という短時間で長文・長い選択肢を読み、解答する試験には必須である。古典での文法事項の定着が見られないことも大きな問題である。残り1ヶ月で、これまで後回しにしてきたことにどれだけ向き合えるかが、分かれ道になるだろう。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2020』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

評論は、本文の言葉遣い・語彙が難解で、読むのに時間を取られたように思う。日頃からあらゆる文章に触れておきたい。また、一つ一つの表現は難解でも、論の展開や文章の流れを丁寧にたどれば、筆者の考えを十分につかむことができたはずである。問七が白紙だった者や大きく減点された者は、短時間で文章の構造を把握する練習を積むこと。

対談は評論的随想のようなもの。評論のように論の展開を把握していくが、そこには話者の思いも入る。100字を越える字数で答える時には、何を答えようとしていたのかを忘れがち。答案の骨格と着地を先に考え、答えが途中でぶれることのないよう注意したい。また、話し言葉をそのまま答案にしないよう、書き言葉に変えていこう。

古文は、基本的な文法事項がまだ身につけていない者が理系に多く見られた。また、敬語の使われ方から、だれが主語かということを考えながら前から順に読んでいけば、ストーリーの把握が困難な文章ではなかった。今一度主語・述語を確認しながら読み、設問や選択肢をヒントにして、正確なストーリー把握を心がけてもらいたい。何より、答えようとする姿勢が大事。あきらめたらそこで何もかもが終わる。

漢文は、基本句形・用字についての知識はやや身についたように思われる人が増えた。が、やや応用した形で出題すると、まだ正解には至らない。理系は特にそうである。センター試験も確固たる知識があるから正解を選ぶことができる。あと1ヶ月、やれるだけのことをしよう。「鵬」になってほしいという思いを込めた出題。

〈英語〉

〈リスニング〉 35.2点 / 50点 (70.4%)

読み上げスピードはナチュラルで決して簡単な問題ではありませんでしたが、前回よりも正答率が上がり、着実にリスニング力を伸ばしている人が多いようです。センター演習に入れば、個々の問題に対する対策に取り組むと同時に、30分間の集中の仕方(どのタイミングで問題に目を通すか等)を確認することも意識しましょう。

〈筆記〉 70.8 / 200点 (35.4%)

【長文】 30.4 / 100点 (30.4%)

【1】 私たちの生活にあふれている「交渉術」についての英文。身近な話題でもあり、語彙レベルもそれほど高いものを要求されていなかったため、読みやすかったと思われる。問5の前半の **this strategy** は「間違っている」ということを考えると指すものも明らかになったのでは。また、**the other party** は文脈に合わせて「他人」ではなく「(交渉)相手」と訳してほしいところ。長文の中での和訳は、文脈にぴったりの日本語が要求される。

【2】 ヒトの脳の大きさと知能について、その知能の高さと脳の構造について書かれた英文。英文の難易度はやや難。しかしある程度誰もが知っている内容であるので、落ち着いて読めば理解はし易い。和訳問題は、**birth canal** に注釈をつけなかったが、「産道」と日本語訳している生徒が予想以上に多かった。記述の設問には、日本語の表現の不適切さゆえに、部分点しか与えられない答案が目立った。

【3】 短編小説からの引用。小説は場面設定が見えるかどうかが大切。問1は **a shiver of suppressed excitement** の部分が組み立てられるかどうかポイントであり、難解であった。問2～問4は基本問題。正解できなかったものは着実に身につけよう。問5は仮定法の理解と共に助動詞 **should** の用法を再度辞書で調べておくこと。やや難解であった。問6は基本語彙である **encourage** と **servant** の意味・用法を再確認。問題量も多く、焦りはあっただろうが、まだまだ「やるべきこと」「やれること」は多い。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉 〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2020』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

【発音・アクセント】 8.2/ 20 点 (41.0%)

大変忙しい時期ですが、隙間のごく短時間にさっと見て発音して、「ルール別発音・アクセント」の本も活用(復習)しましょう。例えば(A) (3)なら、動詞の語尾の-edの発音についてのp. 16 **Rule 10**と、p. 34 -ed で終わる形容詞の場合を確認してください。筆記テストで発音の問題が出題されるのは、今度のセンターテストで最後になりますが、大学進学後も英語力を向上させるのに、発音も大切なことには変わりはありません。

【文法・語法】 19.1/ 40 点 (47.7%)

〈A〉(2)のお金に関する名詞や、〈4〉の imagine 派生の形容詞の使い分けなどは、覚えていれば簡単に正解を選べますが、〈B〉のように同一の語に関する多義にわたる意味を識別できる語彙力を身に着けるのは、なかなか難しいです。このような場合は、やはり文脈からその語の意味を類推するしかありません。普段から、単語→語句(成句)→文、と俯瞰しながら英文全体を理解することを心掛けましょう。この時期、新たな長文をどんどん読み進めながら、同時に文法・語法の復習も忘れずに。

【表現・英作文】 13.1/ 40 点 (32.8%)

得点率は前回より 8.1%アップしました。〈A〉〈B〉の得点率は 7.4%、〈C〉は 9.8%のアップでした。〈A〉～〈C〉全体(40点満点)の素点では、3.2点アップでした。この数字が入試で果たす意味を、みなさんはよく理解していると思います。徐々にですが実力は上がってきています。英作文のポイントは、和文で伝えたい意図や情報を読み取って、英文での骨格(構文)を見極めて、どのような語句を使って表現していくかです。

日本語特有の言い回しにとらわれず、できるだけ簡潔な英語表現に読みかえたり、構造の複雑な和文は、複数の短い英文にするなどの工夫が大切です。

また、自由英作では出題の意図を踏まえて、解答を作ることが大切です。英語で伝える内容が主観的過ぎたり、説得力を欠いたりしないように心がけてください。今回は、説得力がある英語が書ける人が多くなりました。この調子でまとまりのある英語を書いていきましょう。自由英作文は、“Practice makes perfect.” つまり慣れることが大事です。

〈数学〉

今回の平均点は、**文系 42.4/200 理系 65.7.9/200 (総合理学科 100.4/200)**。

すべて記述式の文系 5 題、理系 6 題をそれぞれ 120 分、150 分という長い時間で 1 つ 1 つの問題をしっかりと考え抜いて解答をつくっていく形式。各設問の講評は、答案とともに配布した「解説・講評」に詳しく記述しているので、しっかりと見直しておくこと。

文系理系共に、今までの演習の成果を答案に反映出来始めている印象を受けた。これからは更に、取るべき(正解すべき)問題を確実に取りきる事が望まれる。3年になってからの、4回の校内模試で、入試に必要な内容をまんべんなく出題してきた。各自の第一志望校の出題内容を確認の上、必要な単元をもう一度解き直して欲しい。

文系 授業で活用しているメジアンレベルの問題がほとんどである。まだ記述式の解答としては不十分な解答が多く見受けられる。思考過程をいかに採点者に正確に伝えるかが重要であり、つねにそのことを意識して答案を作成すること。

理系 数学 I A II B の内容に関しては、学力が積み上がってきている印象を受けた。ただ、数Ⅲに関しては、まだ充分とはいえない。更に演習量を増やしていく必要がある。これからセンター演習が中心になっていくが、余裕のある者は、12月の間は1日1問で構わないので、数Ⅲも解いておこう。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉 〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現 2020』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

〈物理〉

標準的な4題を出題したが、全体の平均点が**64.9点**で、徐々に力がついてきたことが伺えた結果となった。**①**(力学)と**②**(熱)に比べて、**③**(電磁気)と**④**(原子)の正答率が特に低かった。**③**では、磁場中の電子の運動について、磁場のかけ方を変えた場合にどのように変化するかを、 x - y 平面で考えられることが必要である。また、**④**(原子)は、コンプトン効果の基本的な問題であり、あらためて関係式の導出を確認してほしい。電磁気分野は二次試験では必出であり、また、原子分野についても、センター試験は必出で、また、二次試験でも出題している大学が増えているので、十分に復習してほしい。

〈化学〉【理系、総理】

前回9月実力考査に引き続き今回も二次形式の実力考査として出題しました。また、今年は例年より早く2学期中間考査までに教科書の全範囲を終了したため、本来二次で配点の大きな有機化学および高分子の範囲を大問[3][4]として出題しました。特に高分子は外部模試でもまだ出題されていない範囲ですから戸惑った人もいたかもしれません。

今回答案を見て感じたことは、一つ目は『時間不足になった人が多い』ということです。二次問題は6割前後が合格ラインなので全部解き切る必要はないとはいえ、大問4つをさらに(1)(2)に分割しましたから、実質小問8つを各10分程度で解く必要があります。上手な計算の仕方も含めてスピード感をもって普段の二次演習をすること(解答・解説を見ているだけでは実力は養成できません!手と頭を動かして解くこと)を心がけましょう。

二つ目は『無機・有機・高分子の復習不足の人が多い』ことです。9月実力でも指摘しましたが化学の教科書の後半の3つの単元は『暗記すべき項目の多い部分』です。化学では、物質に関する知識+思考力が試されます。暗記しておくべき知識は多いため1~2日で全部覚えることなどできる分量ではありませんが、センター試験までの残りの日々でコツコツ覚え直していけば十分間に合いますので急ぎましょう。

〈生物〉

75分間集中できましたか?センター対策を含めてスパートをかけましょう!

学習の効果が徐々に表れてきている生徒が少しずつ増えてきています。今できることを地道に試験直前までやり抜きましょう。最高点は86点、60点以上は4名、平均は約**38点**でした。

お茶の水大、千葉大、2018年に薬価承認されたインフルエンザ治療薬の作用機序からの出題。2019年のノーベル生理学・医学賞「低酸素応答」からの出題。ノーベル賞を題材とした問題は多くの大学で今後も出題されると考えられるので過去3年のノーベル賞については理解しておく。また、蛍光を測定するのは緑色蛍光強度であることも押さえる。ゲノム編集はおそらくここ数年は出題する大学が多いと予想されるのでしっかりと理解する。期末にはNGS(次世代シーケンサー)に関する出題をしたのでこれも2次試験までには理解しておいてください。以下の3つを注意して受験準備をする。

- ①基本的な語句用語を正確に理解説明できる。
- ②本文中の言葉や、実験結果の図を理解し、出題者が何を解答させようとしているのかを考えて問題を解く。
- ③生命現象に興味関心を持ち、「なぜ?」という疑問を持ちながら取り組む。
センター試験まであと約1か月。目の前のことに集中しましょう。

〈世界史〉

1 出題内容

大問1～2…主にセンター試験のレベルで出題

大問3～6…主に国公立2次、難関私立大学のレベルで出題

大問7～8…120字程度の論述（大問7は指定語句あり、大問8は指定語句無し）

※授業での抑えが弱かったと思われる所を意識的に出題しました。

2 分析

- ・同時代史が弱い。とはいえ、全国的にも苦手な生徒が多いはずで、できれば差をつけられます。
- ・落としてはならない問題はできましたか。例えば「シェードラ」「授時曆」「杜甫」。

3 指導方針・学習の心構え

- ・縦の学習（国ごと、地域ごと）と横の学習（時代ごと、世紀ごと）を。
- ・世界史の学習内容が理解できれば、マーク式であろうが記述式であろうが解答できます。あせって解き方の練習に走らないこと。

〈日本史〉

教科書の全範囲からの出題で、センター問題に準じた正誤問題、私大問題に準じた一問一答問題、国公立大学二次問題に準じた簡単な論述問題等を出題しました。特に今回は難解な正誤問題や時代順に並び変える問題もあり、また書き間違いをおこしやすい漢字も出題しましたが、平均点を見る限りではよく健闘していたように思います。

日本史・倫理は、今からが勝負です。まだまだ伸びます。焦ることなく教科書（参考書）を精読し（資料・史料もチェックしながら）、問題集・過去問の間違いチェック、一問一答での確認等々を焦ることなく繰り返してみてください。

〈地理〉

センターの問題も国公立2次の問題も必要な知識はほとんど変わらない。2次の方がより細かい知識が必要であるが、問題の質はセンター試験の方が高いともいえる。人口、一人あたりGNI、気候、地形の基本知識を50カ国程度ではいつでも使えるようになってほしい。第二次世界大戦後の世界情勢も把握できていることが必須である。

今回のエジプト・アルジェリア、オセアニアの問題はしっかり復習し、似たような問題に対応できるようにしてほしい。

[冬休み前中の教室利用について]

この時期は、3年生のみが特別な動きをすることが多くなるので、他学年への配慮をしつつトラブルのないよう学習活動(自習)を行ってください。

日時:12/9(月)～23(月) 特別授業期間(3年生のみ午前中授業) 時間帯 3限終了後～18:00
12/25(水), 26(木), 27(金) 時間帯 8:00～18:00 自習場所:進路資料室

【注意】①平日の下校時刻(17:00)までであっても、三者面談のためHR教室の利用はできません。

②特別編成授業中の午後は、1・2年生は授業、3年生は三者面談を行っています。廊下、食堂等で音(私語を含む)を一切出さないよう十分注意してください。

③土日祝日および12/28～1/5は登校しないでください。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉 〈ご意見・ご質問をお寄せください〉
『自己実現2020』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

[冬季三者面談について]

これから、冬季三者面談が始まります。実力考査等の成績も揃い、出願に向けての突っ込んだ懇談を予定しています。主な話題としては、成績等の現状分析、「第一志望」に基づいた出願予定校の確認、「第一志望」へ出願するための現時点での課題の洗い出し、今後の学習計画等です。面談で、こちらから志望変更を迫ることはありません。神戸高校は精一杯生徒の背中を押しします。有意義な懇談になるよう、家庭でも事前に保護者の方々としっかり話をしておいてください。ただし、安易な志望変更は不幸な結果を招くだけでおすすめしません。なお、センター試験後にも希望される方は面談をもつ予定です。

[保護者のみなさまへ]

11月30日(土)に開催しました学年保護者会(進路説明会)には多数ご来校いただき、ありがとうございました。いよいよ入試シーズンに突入します。受験生本人と保護者の方の「納得の出願」により、彼らが「自己実現」できることを祈念しております。

[センタープレテストについて] 外部に一切出回っていない河合塾のプレテストです。

<時間割>

■1/6(月) 1～9組

08:20 着席完了(マークシート配布)	08:30～09:50 国語(80)
10:05～11:05 数学①(60)	11:20～12:20 数学②(60)
13:00～14:20 英語(80)	14:35～15:05 リスニング(30)

■1/7(火)

○1～3組

08:20 着席完了(マークシート配布)
08:30～10:40 地歴公民(130)
(09:30に第1解答科目回収)
10:55～11:55 理科(60)

○4～9組

08:20 着席完了(マークシート配布)
08:30～09:30 地歴公民(60)
09:45～11:55 理科(130)
(10:45に第1解答科目回収)

[第1科目回収中の10分間は休憩時間ではありません。無言で着席しておくこと。トイレ×]

※終了後、自己採点

<<注意事項>>

- ① センター試験に出願していない人は登校しなくてもかまいません。
- ② 業者模試のように業者から結果は返却されませんが、自己採点を集計し、度数分布・順位・偏差値等を算出し、個人別のデータを返却します。また、個人票と同時に配布する「センター試験直前・各教科アドバイス」を「自己実現2020」に掲載します。
- ③ 実際のセンター試験(本番)を想定し、H・F・HBの鉛筆と鉛筆削り(大きすぎないサイズ)を必ず用意してください。シャープペンシルでのマークは不可です。各自の時計も本番では必要です。用意できている人は持参しましょう。

[後記] センター試験まで44日となりました。焦るのではなく、できること、わかることをひとつでも増やすことが大切な時期です。他人をうらやむのではなく、励みにし、自分自身との戦いに勝てるように努力してください。「この1点」で合否が分かれることがあります。せっかく勉強したことを漏らすことのないように、一つ一つ丁寧に自分のものとしていきましょう。みなさんは自分の出願にきちんと向き合っていますか。自分の前にたちはだかる壁が高すぎると思って戦わずして逃げていませんか?受験とは何のためにするのか?「志望校に入学するため。」もちろんそれもあります。しかし何よりも試練を体験し、困難に挑戦し、その壁を乗り越える力を体得することが最も大切なことだと思います。受験を通してその「力」と「自信」を手にいれることが一番の目的です。受験を通して成長することができた人は、将来社会に出たときに必ず直面するさらに大きく困難な壁もきっと乗り越えていくことができるはずです。人生の壁を前にしてどう行動するかでその人の真価がわかります。72回生全員が不可能を可能にし、大志を実現してくれることを期待しています。

<保護者の方々にも読んでいただきますよう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現2020』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。